

教科名	理科	科目名	科学と人間生活
対象	全スタイル	年次	1(本校) 2(連携)
添削指導(回)	6	面接指導 (単位時間)	8(メディア活用後4)
単位数	2	備考	必履修科目
教科書・補助教材等	科学と人間生活(東京書籍) ニューサポート 科学と人間生活(東京書籍) 科学と人間生活DVD		
学習の目的	自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。		
学期	月	学習内容	学習のねらい・目標
前期	4	オリエンテーション プロローグ 科学技術の発展 第1編 生命の科学 1章 生物と光 1. 植物の生育と光 2. 光シグナルと生物	・光合成について、反応に必要な物質、反応後に生成される物質を確認しながら、学習する。 (光合成色素、ブドウ糖、光補償点、光飽和点、等) ・光に対する植物・動物の性質について学習する。 (屈性、光周性、限界暗期、走性、日周リズム、等)
	5	3. ヒトの視覚と光 2章 微生物とその利用 1. さまざまな微生物	・光とヒトの視覚について学習する。 (眼球の構造、視覚と錯視、等)
	5	2. 微生物と人間生活のかかわり 第2編 物質の科学 1章 材料とその再利用 1. プラスチック 2. 金属 3. 資源の再利用	・身の回りにある繊維の種類とその特徴について学習する。(天然繊維、化学繊維、等) (屈折、反射、回折、干渉、等)
	6	2章 衣料と食品 1. 衣料 2. 食品	・食品を構成する成分や、体内における消化・吸収について学習する。(炭水化物、タンパク質、油脂、消化酵素、等)
	7	第3編 光や熱の科学 1章 光の性質とその利用 1. 目に見える光の世界 2. 光の進み方とその基本的性質	・太陽光(色)について学習する。 (スペクトル、波長、物の色、光の3原色、等) ・光の性質(波)について学習する。
	8		
前期	9	第4編 宇宙や地球の科学 1章 身近な天体と太陽系における地球 1. 天体が刻む「時」	・天体と暦(時間)の関係について学習する。 (日周運動、太陽暦、太陰暦、等) ・太陽について学習する。 (エネルギー源、大きさの測定、昼と夜の見え方の違い)
	10	2. 太陽系の構造	・太陽系について学習する。

11	3. 太陽が動かす大気と水	(太陽系の惑星、小惑星、衛星、天動説と地動説、等)
12	第5編 課題研究	・地元で、過去の災害やその対策について調べる。
1	2章 身近な自然景観と自然災害 1. 身のまわりの景観の成り立ち	・太陽エネルギーが引き起こす自然現象について学習する。(大気の大循環、海流、等)
2	2. 自然災害と人間	
3	復習	
学習上の留意点	日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち、その法則性について考える態度をもつ、疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつ、学んだことを正確に記録する方法と態度を身につける 以上3点の力をつけることを常に意識する。	
評価の観点		評価方法
主体的に学習に取り組む態度	各学習や実験・観察にのぞむ態度、興味関心を持って探究しようとする姿勢	レポートの評価、面接授業の参加状況と定期考査の出題範囲における習得の状況を評価から、総合的に評価する。
思考・判断・表現	定期考査、授業中の質問に対する回答、レポートの考察など	
知識・技能	実験や観察における実験機器の操作、レポートなど 定期考査の成績、小テストの成績、レポートなど	

RITA 学園高等学校